



シスコ ユニファイド コミュニケーション セルフ ケア ポータル ユーザ ガイド、リリース 11.0(1)

[ユニファイド コミュニケーション セルフ ケア ポータル](#) 2

[ユニファイド コミュニケーション セルフ ケアの 設定](#) 2

[電話](#) 4

[その他の 設定](#) 13

Revised: April 1, 2016,

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータル

このマニュアルでは、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルを使用して、Cisco Unified IP Phone および Jabber アプリケーションのユーザ設定をする方法について説明します。ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルを使用すると、スピードダイヤル番号、連絡先リスト、電話サービス、ボイスメール通知などを設定できます。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

ユニファイドコミュニケーションセルフケアの設定

このユーザガイドでは、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルで使用可能なすべての設定について説明します。このガイドでは、すべての使用可能な設定が電話でサポートされていること、およびネットワーク管理者がすべてのユーザ設定を表示できるようにユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルを設定していることを想定しています。

このガイドに掲載する一部の設定は、次の理由でユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルで電話を設定するときに表示されないことがあります。

- 電話の機能：電話の特定モデルで特定の機能を使用できない場合、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルで電話を設定するときはその機能は表示されません。たとえば、サイレントが電話でサポートされていない場合、その機能は使用可能な設定として表示されません。
- エンタープライズパラメータ：ネットワーク管理者は、Cisco Unified Communications Manager でエンタープライズパラメータを設定し、ユーザがユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでできる設定を制限できます。たとえば、ネットワーク管理者はすべてのコール転送オプションを削除するようにユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルを設定できます。このような設定の場合、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルではコール転送オプションが表示されません。

このガイドに掲載されている設定が、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでユーザ設定をするときに表示されない場合は、その機能が電話で使用可能であることを電話のマニュアルで確認してください。その機能が電話で使用可能な場合は、Cisco Unified Communications Manager でエンタープライズパラメータをチェックして、エンドユーザがその機能を設定できることを確認するようにネットワーク管理者に依頼してください。

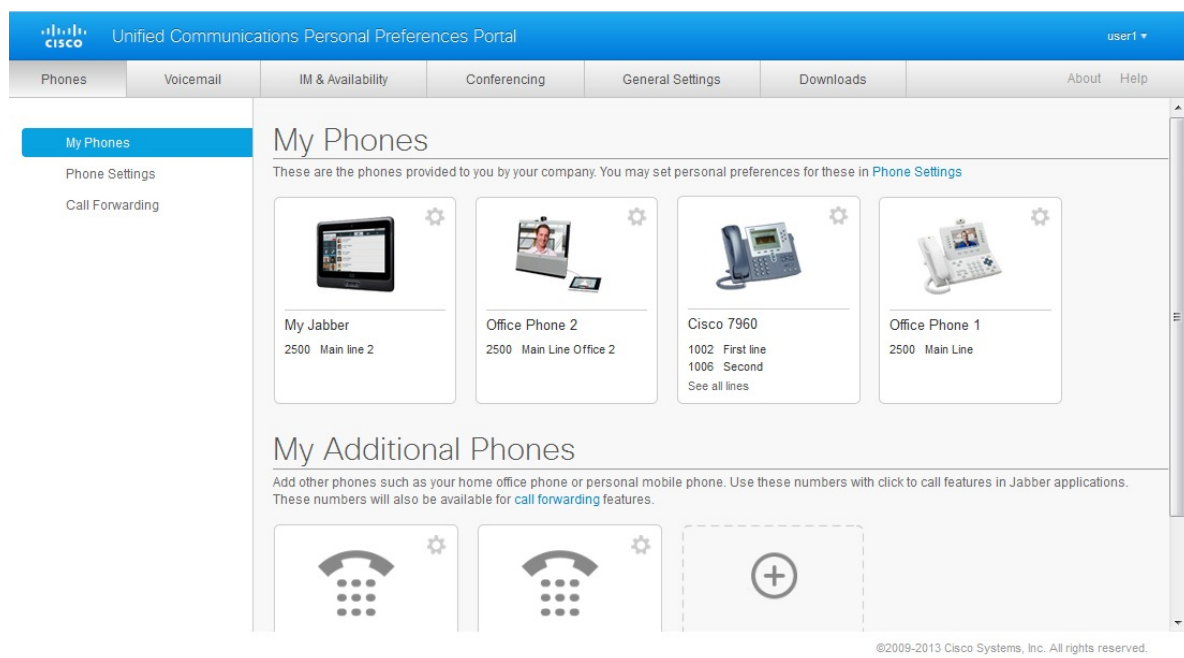
グラフィカルユーザインターフェイス

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでは、メインタブが6個ある Web ベースのグラフィカルインターフェイスを使用します。それぞれのタブには、ユーザが設定可能なさまざまなオプションへのリンクが含まれています。タブは次のとおりです。

- [電話 (Phones)] : このタブの設定で、スピードダイヤル番号、呼び出し音設定、コール履歴、コール転送設定などの電話の設定を表示および設定できます。
- [ボイスメール (Voicemail)] : このタブの設定で、ボイスメール初期設定を実行できます。
- [IM と在席情報 (IM & Availability)] : このタブの設定で、サイレントおよび IM & Presence のステータスを設定できます。
- [会議 (Conferencing)] : このタブの設定で、会議のオプションを設定できます。
- [一般設定 (General Settings)] : このタブの設定で、ユーザのロケールやパスワードなどを設定できます。
- [ダウンロード (Downloads)] : このタブの設定で、電話用のプラグインおよびアプリケーションをダウンロードできます。



次の画像はメイン画面を示しています。




図 1: ユーザインターフェイス



共通機能およびアイコン

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでは、次のアイコンを使用して共通機能を実行します。

アイコン	説明
	新規追加 : このアイコンをクリックして、新しい電話、新しいサービス、新しいスピードダイヤル番号などの新規項目を追加します。
	削除 : このアイコンをクリックして、設定を削除します。

アイコン	説明
	設定の編集 ：このアイコンをクリックして、既存の設定を編集します。
	リンク ：リンクアイコンが表示されているときは、この特定の電話設定にリンクしている電話設定があります。自分用の電話のいずれかを更新すると、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルによって、自分用の他の電話に同じ更新が適用されます。このアイコンをクリックしてリンク解除ステータスに変更すると、電話ごとに固有の設定を適用できます。
	リンク解除 ：リンク解除アイコンが表示されているときは、その電話設定を自分のそれぞれの電話に固有に設定できます。このアイコンをクリックしてリンクにステータスを変更すると、その電話設定と同じ設定が自分の電話で共有されます。

電話

[電話 (Phones)] タブに表示される設定では、Cisco Unified IP Phone および Jabber デバイスごとに設定を表示および設定できます。[電話 (Phones)] タブは、次の 3 つの主なセクションに分かれています。

- [電話 (My Phones)]：自分が使っているすべての電話の概要を確認し、新しい電話を追加できます。
- [電話の設定 (Phone Settings)]：スピードダイヤル番号、呼び出し音設定、ボイスメール通知などの電話設定ができます。
- [コール転送 (Call forwarding)]：電話のコール転送オプションを設定できます。

My Phones

[My Phones] ウィンドウには会社の電話と不在時に連絡を受けるための追加の電話の概要が表示されます。[My Phones] ウィンドウは次の 2 つの見出しに大きく分かれています。

My Phones

[My Phones] セクションには、会社から提供されている電話が表示されます。[My Phones] ウィンドウでは、会社の電話に関する電話と回線の説明を編集できます。[電話の設定 (Phone Settings)] で適用する設定は、会社の電話のみに適用されます。

[追加の電話 (My Additional Phones)]

追加の電話は、会社が提供した電話以外で、席にいないときに連絡のとれる番号のリストに追加する電話です。追加の電話で、シングルナンバーリーチの利用、モビリティソフトキーの利用、または Jabber による Extend and Connect の制御が可能になります。ただし、追加の電話に電話の設定をすることはできません。

会社の電話の編集

[My Phones] ビューでは、会社の電話の回線ラベルおよび電話の説明を表示して編集できます。会社の電話を編集するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ2 左側のナビゲーション パネルで [My Phones] をクリックします。
 - ステップ3 編集する会社の電話をクリックします。
 - ステップ4 [電話の編集 (Edit Phone)] をクリックします。
 - ステップ5 編集する電話および電話回線の説明に新しいテキストを入力します。
 - ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話のマニュアルのダウンロード

会社の電話のマニュアルをダウンロードするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ2 左側のナビゲーション パネルで [My Phones] をクリックします。
 - ステップ3 対象の電話をクリックします。
 - ステップ4 [マニュアルのダウンロード (Download Manual)] をクリックします。
-

追加の電話の設定

ユニファイド コミュニケーションセルフ ケア ポータルでは、会社が提供する電話に対して、ホーム オフィスの電話や携帯電話などの追加の電話を設定できます。追加の電話は、席にいない時にかかる追加の番号となります。

追加の電話を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ2 左側のナビゲーションパネルで [My Phones] をクリックします。
 - ステップ3 [追加の電話 (My Additional Phones)] で新規追加 (⊕) アイコンをクリックします。 [新しい電話の追加 (Add a New Phone)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ4 電話の電話番号および説明を入力します。
 - ステップ5 オプション。 シングル ナンバー リーチをこの電話に設定する場合は、 [シングル ナンバー リーチを有効にする (Enable Single Number Reach)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ6 オプション。 この電話が携帯電話の場合は、 [携帯電話への移動を有効にする (Enable Move to Mobile)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ7 オプション。 Cisco Jabber を使用した Extend and Connect 機能をこの電話で有効にする場合は、 [Extend and Connect を有効にする (Enable Extend and Connect)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ8 [保存 (Save)] をクリックします。
-

追加の電話におけるシングル ナンバー リーチの有効化

会社が用意した電話と連動するようにホーム オフィスの電話などの追加の電話を設定する場合は、追加の電話でシングル ナンバー リーチを有効にして、会社の電話にかかってきたときに追加の電話も呼び出されるようにします。

追加の電話でシングル ナンバー リーチを有効にするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ2 [My Phones] をクリックします。
 - ステップ3 追加の電話をクリックしてから [編集 (Edit)] をクリックします。
 - ステップ4 [シングルナンバーリーチを有効にする (Enable Single Number Reach)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ5 会社の電話にかかってきたときに呼び出す電話回線をオンにします。
 - ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

シングル ナンバー リーチの呼び出しスケジュールの設定

シングル ナンバー リーチを有効にした追加の電話では、呼び出しスケジュールを設定して、追加の電話にダイヤルできる日時を指定できます。たとえば、通常の就業時間に限り、会社の電話番号をダイヤルした人の電話が、自宅にいる自分にかかるようにスケジュールを設定できます。

呼び出しスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 左側のナビゲーション パネルで [My Phones] をクリックします。
 - ステップ 3 呼び出しスケジュールを追加する電話の追加設定アイコンをクリックします。
 - ステップ 4 [編集 (Edit)] をクリックします。
 - ステップ 5 [この割り当てのスケジュールを作成 (Create a schedule for this assignment)] をクリックします。
 - ステップ 6 [新規スケジュールの追加 (Add a New Schedule)] ウィンドウのフィールドに情報を入力して、呼び出しスケジュールを作成します。
 - ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。
-

追加の電話のモビリティ コールの設定

いずれかの追加の電話を携帯電話として設定した場合は、会社の電話でモビリティ ソフトキーを押して、自分の会社の電話のいずれかから携帯電話にコールを転送できます。

追加の電話を携帯電話として設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 左側のナビゲーション パネルで [My Phones] をクリックします。
 - ステップ 3 追加の電話をクリックしてから [編集 (Edit)] をクリックします。
 - ステップ 4 [携帯電話への移動を有効にする (Enable Move to Mobile)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話の設定

[電話の設定 (Phone Settings)] ウィンドウでは、会社の電話の電話設定ができます。

デフォルトでは、会社の自分用の数種の電話の電話設定はリンクされます。デフォルト設定では、特定の電話設定は自分用のそれぞれの電話で同一です。各種の電話設定で電話のリンクまたはリンク解除を行うには、[電話の設定のリンクおよびリンク解除](#)、(8 ページ) の手順に従ってください。

[電話の設定 (Phone Settings)] で使用可能なオプションが適用されるのは、会社の電話のみであることに注意してください。追加の電話には電話の設定をすることはできません。

電話の設定のリンクおよびリンク解除

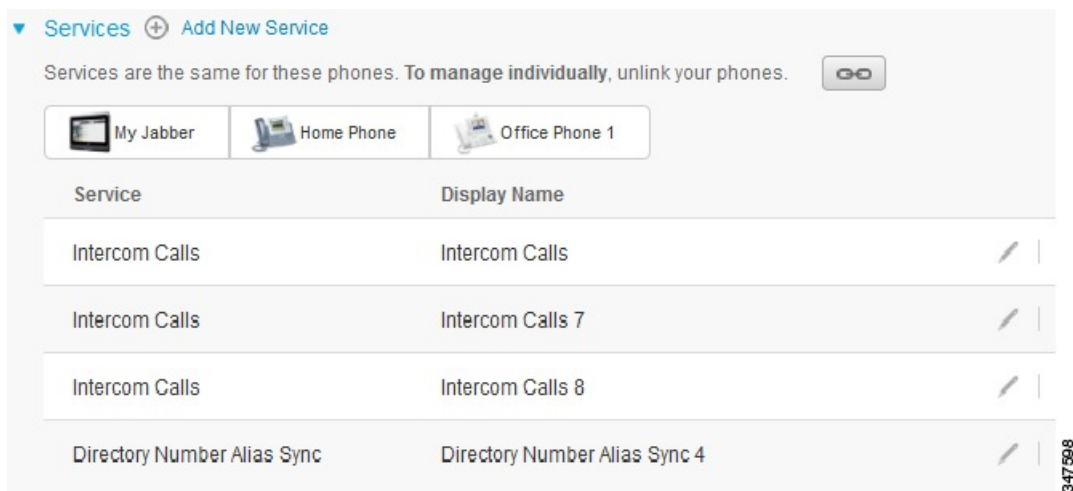
電話の設定では、電話の設定をリンクできます。特定の電話設定で電話をリンクすると、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルではその電話設定での設定がすべての電話に適用されます。たとえば、電話が3台あり、その3台の電話でスピードダイヤル番号をリンクすると、3台すべての電話で同じスピードダイヤル設定が共有されます。いずれかの電話でスピードダイヤル番号を更新すると、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルではそのスピードダイヤル番号がその他の電話にも自動的に適用されます。リンクされている電話で固有の電話設定を適用するには、その電話をリンク解除します。

ユニファイドコミュニケーションセルフケアでは、リンクとリンク解除は電話設定ごとに切り離して行われます。その結果、スピードダイヤル番号など、ある特定の電話設定をリンクし、ボイスメール通知などのその他の電話設定をリンクせずにおくことができます。デフォルトでは、すべての電話設定がリンクされています。

設定のリンクとリンク解除は、リンク/リンク解除アイコンをクリックして行います。このアイコンには、電話がリンクされているかリンク解除されているかの現在の状態が表示されます。

次の画像は、サービスがリンクされている一連の電話がユーザインターフェイスでどのように表示されるかを示しています。サービスは現在リンクされているので、リンクアイコンが表示され、その設定は3台すべての電話に適用されます。リンクアイコンをクリックして電話をリンク解除し、電話ごとに固有の設定を適用できます。

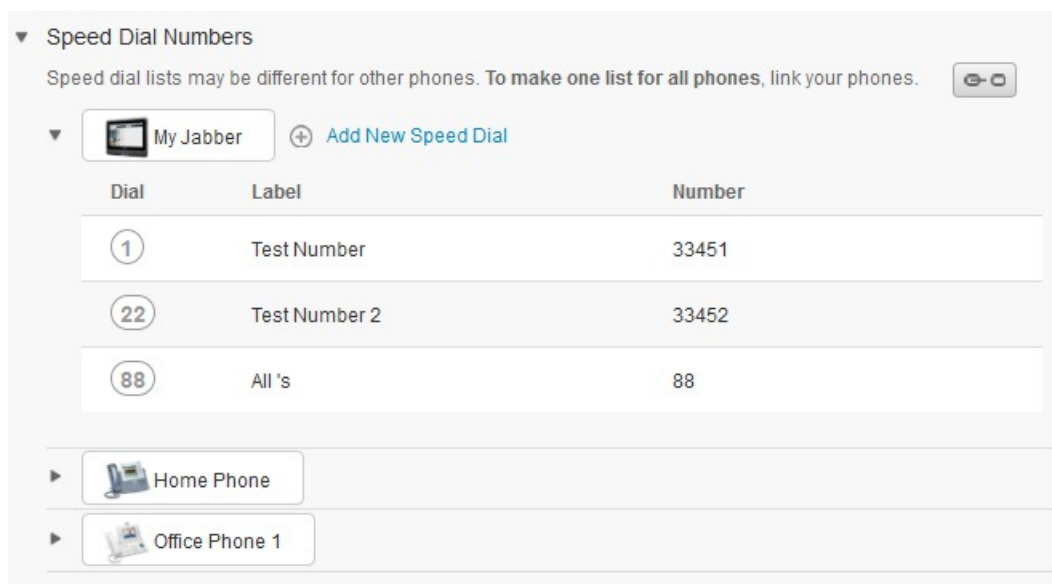
図 2: 設定のリンク



次の画像は、スピードダイヤル番号の設定がリンク解除されている一連の電話が、ユーザインターフェイスでどのように表示されるかを示しています。この場合、表示されている設定は My Jabber のみに適用されます。設定は電話ご

とに固有なので、リンク解除アイコンが表示されています。このアイコンをクリックして、3台すべての電話に同じ設定を適用できます。

図 3: 設定のリンク解除



手順

電話設定をリンクまたはリンク解除するには、次の操作を行います。

- 電話の設定をリンクするには、リンク解除アイコンをクリックし、どの電話をベース電話に使用するかを選択します。ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルにより、すべての電話のその電話設定がベース電話の設定で更新されます。
- リンクされている電話設定をリンク解除するには、リンクアイコンをクリックします。



(注) 設定ウィンドウの右上隅に表示されるフィルタコントロールでは、どの電話を表示するかを設定します。これは、電話設定がリンクされているかどうかには影響しません。設定がリンクされている電話の設定を表示し、その電話の設定を更新すると、ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルにより、リンクされている電話も更新されます。

スピードダイヤル番号の設定

スピードダイヤル番号を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [電話 (Phones)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Settings)] をクリックします。
- ステップ 3** [スピードダイヤル番号 (Speed Dial Numbers)] をクリックします。
- ステップ 4** 次の手順を実行します。
- 電話がリンクされている場合は、[新規スピードダイヤルの追加 (Add New Speed Dial)] をクリックします。
 - 電話がリンクされていない場合は、スピードダイヤル番号を追加する電話を選択し、[新規スピードダイヤルの追加 (Add New Speed Dial)] をクリックします。
- ステップ 5** [番号 (Number)] フィールドに連絡先の名前または電話番号を入力します。ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルによって、会社の電話帳が検索されます。
- (注) ネットワーク管理者からアクセスを有効にしてもらっていれば、会社の電話帳を検索できます。アクセス権は Cisco Unified Communications Manager のエンタープライズパラメータで設定します。
- ステップ 6** [ラベル (Label)] テキストボックスにスピードダイヤル番号の説明を入力します。スピードダイヤル番号を表示するために電話でこの説明が使用されます。
- ステップ 7** [スピードダイヤル (Speed Dial)] テキストボックスでスピードダイヤル番号を割り当てます。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話サービスの設定

サービスのオプションでは、会社の電話帳、ビジュアルボイスメール、または天気予報などの電話サービスを Cisco Unified IP Phone および Jabber アプリケーションに追加できます。利用可能なサービスのリストは、設定している電話のモデルによって異なります。

サービスを追加するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [電話 (Phones)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Settings)] をクリックします。
- ステップ 3** [サービス (Services)] をクリックします。サービスビューが展開されます。
- ステップ 4** 次の手順を実行します。
- 電話がリンクされている場合は、[新規サービスの追加 (Add new service)] をクリックします。

- 電話がリンクされていない場合は、サービスを追加する電話を選択し、[新規サービスの追加 (Add new service)] をクリックします。

- ステップ 5** [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、追加するサービスを選択します。
- ステップ 6** [表示名 (Display Name)] テキスト ボックスに、そのサービスを電話で識別するために使用するラベルを入力します。
- ステップ 7** 必要なパラメータを入力します。
- ステップ 8** [OK] をクリックします。
-

ボイスメール通知の設定

ボイスメール通知では、新しいメッセージがあることを示す通知を電話から受ける方法を設定できます。たとえば、画面プロンプトを表示、またはメッセージ受信ランプを点滅して新しいメッセージがあることを通知するように電話を設定できます。

ボイスメール通知を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [電話 (Phones)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Settings)] をクリックします。
- ステップ 3** [ボイスメール通知設定 (Voicemail Notification Settings)] をクリックします。
- ステップ 4** それぞれの電話で、電話に適用する通知オプションをオンにします。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

コール履歴の設定

コール履歴では、電話ごとに不在着信を記録できます。コール履歴を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [電話 (Phones)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Settings)] をクリックします。
- ステップ 3** [コール履歴 (Call History)] をクリックします。
- ステップ 4** コール履歴を保存する電話回線ごとに [不在着信のログを取る (Log Missed Calls)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話連絡先の設定

電話連絡先ごとに、連絡先の電話番号および電子メールアドレスを保存できます。電話から連絡先のリストを参照し、番号を毎回押さずに連絡先リストから電話を直接かけることができます。

電話連絡先リストを設定するには、次の手順を実行します。



(注) 各ユーザには、そのユーザのすべての電話用に1つの電話連絡先リストがあります。電話連絡先リストのリンクおよびリンク解除をするオプションはありません。

手順

-
- ステップ1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ2 左側のナビゲーションパネルで [電話の設定 (Phone Settings)] をクリックします。
 - ステップ3 [新規連絡先の作成 (Create New Contact)] をクリックします。[新規電話連絡先の追加 (Add New Phone Contact)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ4 すべてのフィールドに連絡先の情報を入力します。
 - ステップ5 [OK] をクリックします。
-

コール転送オプション

コール転送ユーザ オプションでは、コールを別の番号に転送するように Cisco Unified IP Phone および Jabber デバイスを設定できます。

すべてのコールの転送の設定

すべての着信コールを別の番号に転送するように電話を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 左側のナビゲーション パネルで [Call Forwarding (コール転送)] をクリックします。
 - ステップ 3 コール転送を設定する電話番号をクリックします。
 - ステップ 4 [すべてのコールの転送先 : (Forward calls to:)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5 [コール転送先 (Forward calls to)] ドロップダウン リスト ボックスから、すべてのコールの転送先の電話番号を入力します。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

詳細なコール転送オプションの設定

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでは、内線コールと外線コールでコール転送動作を変えるというように、詳細なコール転送オプションを設定できます。詳細なコール転送を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [電話 (Phones)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 左側のナビゲーション パネルで [Call Forwarding (コール転送)] をクリックします。
 - ステップ 3 コール転送を設定する電話番号を選択します。
 - ステップ 4 [コールの詳細ルール (Advanced calling rules)] をクリックします。
 - ステップ 5 ドロップダウンリストボックスを使用し、内線コールと外線コールの両方のコール転送オプションを設定します。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

その他の設定

この項では、ボイスメール、会議、一般設定など、電話以外の関連設定について説明します。

ボイスメールの初期設定

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでボイスメール初期設定を実行するには、[ボイスメール (Voicemail)] タブをクリックしてから [ボイスメール初期設定 IVR にダイヤル (Dial Voicemail Preferences IVR)] ボタンをクリックします。Cisco WebDialer がボイスメール初期設定 IVR にダイヤルし、そこで電話のボイスメール初期設定を実行できます。

サイレントステータスの設定

サイレントをオンにすると、だれかがその番号をダイヤルしても電話は鳴りません。すべての電話でサイレントステータスをオンにするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [IM と在席情報 (IM & Availability)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [サイレント (Do Not Disturb)] をクリックします。
 - ステップ 3 [有効にする (Enable)] チェックボックスを選択します。
 - ステップ 4 [サイレント (Do Not Disturb)] のその他の設定を行います。
(注) その他の設定は、その設定が電話でサポートされている場合に限って表示されます。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
サイレントがすべての会社の電話でオンになります。
-

電話の IM & Presence ステータスの設定

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルでは、Cisco Unified IM and Presence のステータスをオンに切り替えることで、会議に出席しているときに電話のステータスが更新されるように設定できます。Cisco Unified IM and Presence のステータスをオンに切り替えるには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [IM と在席情報 (IM & Availability)] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [ステータスポリシー (Status Policy)] をクリックします。
 - ステップ 3 [予定表に会議があるとき、ステータスを自動的に更新する (Automatically update status when there is a meeting on my calendar)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
-

会議のスケジュール

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルの [会議 (Conferencing)] タブで、会議をスケジュールできます。管理者が設定したユーザプロファイルに応じて、Cisco TelePresence Management Suite または Cisco WebEx で会議を設定できます。会議をスケジュールする機能がユーザプロファイルに含まれていない場合、会議をスケジュールするオプションは表示されません。

電話の言語の設定

Cisco Unified IP Phone または Jabber アプリケーションの言語を設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [一般設定 (General Settings)] タブをクリックします。
 - ステップ 2** [言語 (Language)] をクリックします。
 - ステップ 3** [表示言語 (Display Language)] ドロップダウンリストボックスからオプションを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
-

クライアントパスワードの設定

ユニファイドコミュニケーションセルフケアポータルへのログインに使用するパスワードを再設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [一般設定 (General Settings)] タブをクリックします。
 - ステップ 2** [クライアント/ポータルのパスワード (Client/Portal Password)] をクリックします。
 - ステップ 3** [新しいパスワード (New Password)] テキストボックスにパスワードを入力します。
 - ステップ 4** [新しいパスワードの確認 (Confirm New Password)] テキストボックスにパスワードを入力します。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話サービスの暗証番号の設定

電話サービスの暗証番号は、拡張モビリティおよび新しい電話のセルフプロビジョニングに使用します。電話サービスの暗証番号を再設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [一般設定 (General Settings)] タブをクリックします。
 - ステップ 2** [電話サービスの暗証番号 (Phone Services PIN)] をクリックします。
 - ステップ 3** [新しい電話の暗証番号 (New Phone Pin)] テキストボックスに暗証番号を入力します。
 - ステップ 4** [新しい電話の暗証番号の確認 (Confirm New Phone Pin)] テキストボックスに暗証番号を入力します。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

Conference Now のアクセスコードの設定

新しいアクセスコードの長さは、3～10桁の間である必要があります。スペース、文字、特殊文字を含めることはできません。アクセスコードをリセットするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [一般設定 (General Settings)] タブをクリックします。
 - ステップ2 [開催中の会議 (Conference Now)] をクリックします。
 - ステップ3 [出席者のアクセスコード (Attendees Access Code)] テキストボックスに、ネットワークコードを入力します。
 - ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。
-

プラグインのダウンロード

アプリケーションプラグインにより、Cisco Unified IP Phone および Jabber デバイスの機能が拡張されます。電話用のプラグインをダウンロードするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [ダウンロード (Downloads)] タブをクリックします。
 - ステップ2 ダウンロードするプラグインを選択します。
 - ステップ3 [ダウンロード (Download)] をクリックします。
-

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記供給者は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、あるいは、取り扱い、使用、または取引慣行によって発生するあらゆる保証に関して、明示的、黙示的を問わず責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコや米国および他の国の関連会社の商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> で参照できます。本書に記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者の財産です。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません (1110R)。

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>